

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅠ

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1 組：小張 ）（ 2 組：難波 ）（ 3 組：難波 ）（ 4 組：小久保 ）（ 5 組：難波 ）（ 6 組：小久保 ）（ 7 組：小張 ）

使用教科書：（ MY WAY English Communication I 三省堂 ）

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ 「 や 」 ）	話 （ 「 発 」 ）	書					
Lesson 1 Proverbs Around the World 【知識及び技能】 世界各地の特徴的なことわざについて、理解して考えを深める。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したいことわざについて、意見を交換してまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 紹介したいことわざについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う。	世界各地のことわざについてのレクチャーから、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○					5
定期考査							○	○			1
Lesson 2 Iwago Mitsuaki -An Animal Photographer 【知識及び技能】 動物写真家である岩合光昭さんの生き方や考え方について、理解して考えを深める。 【思考力、判断力、表現力等】 図書室に飾る写真について、意見を交換してまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 図書室に飾る写真について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う。	岩合光昭さんの生き方や考え方についてのインタビューから、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○					5
Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space 【知識及び技能】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深める。 【思考力、判断力、表現力等】 宇宙食として食べたいものについて、意見を交換してまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙食として食べたいものについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う。	高校生が新しい宇宙食を開発した経緯についての新聞記事から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○					5
定期考査							○	○			1

<p>【思考力、判断力、表現力等】 一人で暮らすことと家族と暮らすことについて、意見を交換してまとめ、発表する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高校卒業後の暮らし方について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う。</p>	<p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高校卒業後の暮らし方について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしていたりしている。</p>				6
定期考査								○	○		1
											合計
											43

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語

科目：論理・表現 I

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：(1組：小張・小久保) (2組：難波・永易) (3組：難波・小久保) (4組：小川・難波) (5組：小川・小張) (6組：永易・難波) (7組：永・

使用教科書：(教科書『APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I』(開隆堂出版))

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 論理・表現 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りをとおして必要な情報を得たりすることができる。	ディベートやディスカッションなどの活動をおして、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理的構成や展開を工夫して話して伝え合うことができる。	ディベートやディスカッションの手順にしたがって、自分の意見を聞き手に対して積極的に伝えようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (<small>や</small>)	話 (<small>発</small>)	書					
Lesson1 現在形、過去形、進行形の用法を理解したうえで、その知識を活用し、自分や周りの人を的確に表現し、紹介することができる。	現在と過去を表す表現 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 現在と過去を表す文を理解している。現在と過去を表す文の理解をもとに、あこがれの人について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したいことわざについて、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 過去から現在にわたり自分があこがれる人について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	5
Lesson2 助動詞willやbe going to、現在形、進行形の用法を理解したうえで、外国からきた客と過ごす予定について表現し、発表することができる。	未来を表す表現 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 未来を表す文を理解している。未来を表す文の理解をもとに、外国からきたお客さんと過ごす週末の予定を伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 外国からきたお客さんと過ごす週末の予定について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 過去から現在にわたり自分があこがれる人について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	5
定期考査							○	○		1	
Lesson3 助動詞の用法を理解したうえで、富士山を訪れる外国人旅行者のための注意書きを的確に表現し、発表することができる。	助動詞 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞を使った文を理解している。助動詞を使った文の理解をもとに、富士登山の際の注意事項について発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 富士登山の際の注意事項について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。情報や考えを発表して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 富士登山の際の注意事項について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	5
Lesson4 完了形の用法を理解し、これまでの経験を表現し、紹介することができる。	完了形 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 完了形を使った文を理解している。完了形を使った文の理解をもとに、これまで経験したことについて友人にたずねたり、紹介したりする技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】				

									○	○	○	○	○	これまで友人が経験したことについて、自分の経験と比較しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 これまで友人が経験したことについて、自分の経験と比較しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	5	
定期考査															○	○		1	
Lesson5 受動態の用法を理解し、自分の好きな食べ物を表現し、発表することができる。	受動態 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用								○	○	○	○	○	【知識及び技能】 受動態を使った文を理解している。 受動態を使った文の理解をもとに、好きな日本の食べ物について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな日本の食べ物について、グループでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、それをALTを中心とした聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな日本の食べ物について、グループでの話し合いをとおして、自分たちの考えをまとめ、それをALTを中心とした聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	○	5
Lesson6 比較級や最上級の用法を理解し、ギネスブックに載せるための計画をまとめ、表現し、発表することができる。	比較 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用								○	○	○	○	○	【知識及び技能】 比較級、最上級を使った文を理解している。 比較級、最上級を使った文の理解をもとに、ギネスブックに載せるための計画について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ギネスブックに載せるための計画について、グループでの話し合いをとおして、PR動画作成に向けての自分たちの考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギネスブックに載せるための計画について、グループでの話し合いをとおして、PR動画作成に向けての自分たちの考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	○	5
Lesson7 同等比較や倍数比較の用法を理解したうえで、食品ロスを減らす方法を的確に表現し、発表することができる。	比較 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用								○	○	○	○	○	【知識及び技能】 同等比較、倍数比較を使った文を理解している。 同等比較、倍数比較を使った文の理解をもとに、食品ロスを減らす方法について、グラフの情報とあわせて発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 食品ロスを減らす方法について、留学生に理解されるように、いろいろなデータや情報を使いながら、聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 食品ロスを減らす方法について、留学生に理解されるように、いろいろなデータや情報を使いながら、聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	○	5
定期考査															○	○		1	
Lesson8 動名詞の用法を理解したうえで、日本に滞在中の外国人に配布する台風に関する備えるためのチラシを作成することができる。	動名詞 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用								○	○	○	○	○	【知識及び技能】 動名詞、to不定詞①(名詞的用法)を使った文を理解している。 動名詞、to不定詞①(名詞的用法)を使った文の理解をもとに、災害への備えや発生時に必要なことについて紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 災害への備えや発生時に必要な事柄について、インターネット等で情報を集めながら、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 災害への備えや発生時に必要な事柄について、インターネット等で情報を集めながら、自分たちの考えをまとめ、それを聞き手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	○	5
Lesson9 to不定詞の形容詞的用法や副詞的用法を理解したうえで、留学先に日本から持っていきたいおみやげについて表現し、発表することができる。	不定詞 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用													【知識及び技能】 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使った文を理解している。 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使った文の理解をもとに、留学先に持っていきたいおみやげについて紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】					

2
学
期

							<p>【思考力、判断力、表現力等】 留学先に持っていきたいおみやげについてクラスで紹介するために、いろいろな説明の方法を考えながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 留学先に持っていきたいおみやげについてクラスで紹介するために、いろいろな説明の方法を考えながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>				5
Lesson10 分詞の用法を理解したうえで、近所の公園で目撃した場面を描いたイラストの状況を表現し、説明することができる。	分詞 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用						<p>【知識及び技能】 関係代名詞を使った文を理解している。関係代名詞を使った文の理解をもとに、オリジナル製品のアイデアを発表する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りで起こったことについて、順序立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りで起こったことについて、順序立てて伝えようとしている。</p>				5

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者： （ 1 組：永易 ） （ 2 組：高橋 ） （ 3 組：高橋 ） （ 4 組：市川 ） （ 5 組：市川 ） （ 6 組：永易 ）
 使用教科書： （ MY WAY English Communication II 三省堂 ）
 教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用し適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
Lesson 1 Dances Around the World 【知識及び技能】 世界各地のさまざまなダンスの起源についてのレポートを読み、概要や要点、詳細を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい日本の踊りについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の好きなダンスや音楽のジャンルについて、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。	・教科書 ・補助教材 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	5
定期考査							○	○		1
Lesson 2 Katsura Sunshine－ Making the World Laugh 【知識及び技能】 落語家である桂三輝さんの落語についての考え方や取り組み方について、理解して考えを深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 紹介したい日本文化について、意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 買い物で失敗した経験について、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。	・教科書 ・補助教材 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	5
Lesson 3 Living with Nature－ Takita Asuka's Journey 【知識及び技能】 滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動について、理解して考えを深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 絶滅の危機にある動植物の現状について、意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多くの人の生活に影響を与えた人物について、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。	・教科書 ・補助教材 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	5
定期考査							○	○		1

<p>【思考力、判断力、表現力等】 幸せを感じるタイミングについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 フィーカに対する自分の意見について、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。</p>		○	○	○	○	○	<p>技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について理解を深めるために、ホセ・ムヒカさんについて書かれた記事を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 フィーカに対する自分の意見について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに主体的に詳しく書いて伝えようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査								○	○		1
											合計
											43

東京都立紅葉川高等学校 令和5年度 教科(英語) 科目(コミュニケーション英語Ⅲ) 年間授業計画

教科:(英語)科目:(コミュニケーション英語Ⅲ) 単位数(4) 対象:(第3学年1組~6組)

教科担当者:(1組:池田㊟)(2組:山中㊟)(3組:池田㊟)(4組:成岡㊟)(5組:成岡㊟)(6組:山中㊟)

使用教科書:(MY WAYⅢ)

使用教材:(MY WAYワークブック、Fast Reading、DadaBase4500、共通テストプレノート)

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	MY WAYⅢ Reading Skill 1~5 Fast Reading Lesson1~4	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	16
5月	DataBase4500 Level 1~2 共通テストプレノート 第1回、第2回	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	20
6月	MY WAYⅢ UNIT 2 Fast Reading Lesson5~8	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	18
7月	DataBase4500 Level 3~4 共通テストプレノート 第3回、第4回	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	24
9月	MY WAYⅢ UNIT 2 Fast Reading Lesson9~12	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	18
10月	DataBase4500 Level 5 共通テストプレノート 第5回、第6回	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	24
11月	MY WAYⅢ UNIT 2 Fast Reading Lesson13~16	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	24
12月	DataBase4500 Level 6 共通テストプレノート 第7回、第8回	【Reading】 ・入試基礎レベル程度の英文を、80~100WPMの速度で読むことができる。 ・段落構成や、トピックセンテンス、サポートセンテンスなどを意識して、限られた時間の中で求められる情報を的確に読み取れる。 【Listening】 ※ 英語演習にて行う 【Speaking】 ・簡単な英語での質問に、「答え+理由や具体例など」を簡易な表現を使って英語で、口頭で伝えることができる。 【Writing】 ・課題に対し、自分の意見を、理由や具体例なども示しながら英文で書くことができる。 ・文法、構文的な誤りがあっても、意図した内容を伝えることができる程度の英文を書くことができる。	・単語テスト 単語帳の範囲を指定し、定期的に小テストを行うことで語彙力の向上を図る。 ・スピーキングテスト ネイティブスピーカーのJETを活用し、授業で取り組んだ課題に関し、個別でのスピーキングテストを行い評価と定着を図る。 ・ライティングテスト 授業で取り組んだ課題に対し、ライティングテストを行い、ネイティブスピーカーのJETが採点、添削をし、評価と定着を図る。	24
1月				

【スタンダード計画報告様式2】

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
2月				
3月				

東京都立紅葉川高等学校 令和5年度 教科(英語) 科目(英語表現Ⅱ) 年間授業計画

教科:(英語)科目:(英語表現Ⅱ) 単位数(2) 対象:(第3学年1組~6組)

教科担当者:(1・2組:小川[㊟]・成岡[㊟]・小張[㊟])(3・4組:小張[㊟]・小川[㊟]・池田[㊟])(5・6組:池田[㊟]・成岡[㊟]・小川[㊟])

使用教科書:(Vision Quest II English Expression II)

使用教材 : (Vision Quest Grammar 24、総合英語Vision Quest)

指導内容		英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	1~3章 時制、受動態、 助動詞	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して30秒以上話すことができる。 【書くこと】 短い日本語の文を見て、ヒントを見つ英語に訳すことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。	(ノート・ワークブックの提出) 意欲・態度を評価するため、ノートに授業中の板書をしっかり写しているか、問題を自分で考えて解くことに挑戦しているかをチェックする。 (英語発表) ALTとのTT時にスピーチや英作文、ペアワーク等を通し、実践を通して英語を学習させ、学期末に発表試験を行う。	8
	5月	5~7章 準動詞	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して30秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して75words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。	
6月	英作文	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して45秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して100words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。	(ノート・ワークブックの提出) 意欲・態度を評価するため、ノートに授業中の板書をしっかり写しているか、問題を自分で考えて解くことに挑戦しているかをチェックする。 (英語発表) ALTとのTT時にスピーチや英作文、ペアワーク等を通し、実践を通して英語を学習させ、学期末に発表試験を行う。	12
7月	英作文	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して60秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して120words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。 入試問題を解き、既習事項を復習する。		
9月	4・8~9章 仮定法、関係詞、 比較	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して30秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して75words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。	(ノート・ワークブックの提出) 意欲・態度を評価するため、ノートに授業中の板書をしっかり写しているか、問題を自分で考えて解くことに挑戦しているかをチェックする。 (英語発表) ALTとのTT時にスピーチや英作文、ペアワーク等を通し、実践を通して英語を学習させ、学期末に発表試験を行う。	12
10月	英作文	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して30秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して75words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。		
11月	1~9章 総復習	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して30秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して75words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。	(ノート・ワークブックの提出) 意欲・態度を評価するため、ノートに授業中の板書をしっかり写しているか、問題を自分で考えて解くことに挑戦しているかをチェックする。 (英語発表) ALTとのTT時にスピーチや英作文、ペアワーク等を通し、実践を通して英語を学習させ、学期末に発表試験を行う。	14
12月	英作文	【話すこと】 即興で与えられたテーマに関して30秒以上話すことができる。 【書くこと】 与えられたテーマに対して75words以上で書くことができる。 【英文法】 各用法の違いを理解して使い分けることができる。		
1月				
2月				
3月				

東京都立紅葉川高等学校 令和5年度 教科(英語) 科目(英語演習) 年間授業計画

教科:(英語)科目:(英語演習) 単位数(2) 対象:(第3学年1組~6組)

教科担当者:(1組:山中㊟)(2組:小川明㊟)(3組:山中㊟)(4組:山中㊟)(5組:小川明㊟)(6組:山中㊟)

使用教科書:()

使用教材 :(SWITCH2)

	指導内容	科目(英語演習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	SWITCH2 UNIT1~2	【読むこと】 教科書の文章を、センテンスごとに、適切な速度と音量で音読することができる。 初見の長文を読み、辞書を使いつつ内容を理解することができる。	(復習テスト/各UNIT終了後) 各UNITの重要な表現を覚え、並べ替えや、英訳ができる。 (英作文・英会話/週1回) JETが作成した外国に関する文章を読み、それに関して意見を書く。	7
5月		【聞くこと】 教科書本文を、文字なし音声だけで聞き、内容をつかむことができる。 【話すこと】 WPM120を超えるスピードで音読することができる。 【書くこと】 読んだ文章に対して、自らの意見を3文程度で書くことができる。		
6月	SWITCH2 UNIT3~5	【読むこと】 教科書の文章を、センテンスごとに、適切な速度と音量で音読することができる。 初見の長文を読み、辞書を使いつつ内容を理解することができる。	(復習テスト/各UNIT終了後) 各UNITの重要な表現を覚え、並べ替えや、英訳ができる。 (英作文・英会話/週1回) JETが作成した外国に関する文章を読み、それに関して意見を書く。	10
7月		【聞くこと】 教科書本文を、文字なし音声だけで聞き、内容をつかむことができる。 【話すこと】 WPM120を超えるスピードで音読することができる。 【書くこと】 読んだ文章に対して、自らの意見を3文程度で書くことができる。		
9月	SWITCH2 UNIT6~8	【読むこと】 教科書の文章を、センテンスごとに、適切な速度と音量で音読することができる。 初見の長文を読み、辞書を使いつつ内容を理解することができる。	(復習テスト/各UNIT終了後) 各UNITの重要な表現を覚え、並べ替えや、英訳ができる。 (英作文・英会話/週1回) JETが作成した外国に関する文章を読み、それに関して意見を書く。	9
10月		【聞くこと】 教科書本文を、文字なし音声だけで聞き、内容をつかむことができる。 【話すこと】 WPM120を超えるスピードで音読することができる。 【書くこと】 読んだ文章に対して、自らの意見を3文程度で書くことができる。		
11月	SWITCH2 UNIT9~11	【読むこと】 教科書の文章を、センテンスごとに、適切な速度と音量で音読することができる。 初見の長文を読み、辞書を使いつつ内容を理解することができる。	(復習テスト/各UNIT終了後) 各UNITの重要な表現を覚え、並べ替えや、英訳ができる。 (英作文・英会話/週1回) JETが作成した外国に関する文章を読み、それに関して意見を書く。	12
12月		【聞くこと】 教科書本文を、文字なし音声だけで聞き、内容をつかむことができる。 【話すこと】 WPM120を超えるスピードで音読することができる。 【書くこと】 読んだ文章に対して、自らの意見を3文程度で書くことができる。		
1月				

【スタンダード計画報告様式2】

	指導内容	科目(英語演習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
2月				
3月				

紅葉川高等学校 令和5年度 教科(英語) 科目(国際英語(自由選択)) 年間授業計画

教科:(英語) 科目:(自選 国際英語) 単位数(2) 対象:(第 3 学年 1 組～ 6 組)

教科担当者: 池田◎

使用教科書:(なし)

使用教材 :(自作教材)

	指導内容	科目(自選英語表現 I)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	Self Introduction School Excursion Golden Week Plan	<ul style="list-style-type: none"> ●自分を紹介する ●きき返す ●あいさつをする 	【ねらい】 英語で情報や考えを伝えると同時に、相手の意向を聞いて理解する能力を身につけ、さらにこの能力を活かして積極的にコミュニケーションを図る姿勢と態度を育成すること。 発音、対話、レシテーション、スピーチ、ディスカッション、ディクテーションなど、できるだけ多くの活動をおこない、英語の運用能力を高めることを目指します。	6
5月	Japanese Place Tour Conductor	<ul style="list-style-type: none"> ●相手について尋ねる・答える ●リストアップする ・First, ... / Second, ... / Finally, ... 		8
6月 7月				
9月	Summer Vacation At Resraurant	<ul style="list-style-type: none"> ●説明する●興味・関心を伝える ●レストランでの注文 ・Can I take your order? ・How would you like your eggs done? ・Anything else? ・Excuse me, but this is not what I ordered. 	【留意点】 特に話すこと、聞くことに重点を置く。 また、自分の考えをまとめて英語で表現するまでの過程を大事にし、さらに聞く態度などコミュニケーションの方法を学ぶ。	8
10月	Halloween Christmas	<ul style="list-style-type: none"> ●描写する ●習慣を尋ねる ●説明する ●推測する・主張する 		16
11月				
12月	Final Speech	<ul style="list-style-type: none"> ●描写する ●説明する 	【評価】 クラスメイト達との発話への積極的参加、原則として毎週行うスピーチの作成準備から実施までの取り組み、リスニング能力などを総合して評価する。意欲と取り組む姿勢を重視する。	6
1月				
2月				